

1 アニメーション，マンガなどのメディア芸術の振興

アニメーション，マンガ，ゲームなどのメディア芸術は広く国民に親しまれ，新たな芸術の創造や我が国の芸術全体の活性化を促すとともに，海外から高く評価され，我が国に対する理解や関心を高めています。メディア芸術の一層の振興を図るため，創作活動に対する支援，普及，人材育成などに重点を置いた様々な取組を行っています。その一つの柱である「文化庁メディア芸術祭」は，「アート」，「エンターテインメント」，「アニメーション」，「マンガ」の4部門について，優れた作品を顕彰するとともに，受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルとして，平成9年度から開催しています。30年度には，第21回の受賞作品展を6月に国立新美術館を中心に開催しました。また，同年8月1日（水）から10月5日（金）を募集期間とし実施した第22回のコンテストには，世界102の国と地域から4,384作品の応募がありました。他にも，過去の受賞作品を中心に優れたメディア芸術作品の鑑賞の機会を提供するメディア芸術祭地方展（30年度はやんばる展，飛鳥・橿原展，須賀川展を開催）やメディア芸術海外展開事業などを実施し，国内外に優れたメディア芸術作品を発信しています。



第21回アート部門大賞
 『Interstices / Opus I-Opus II』映像インスタレーション
 Haythem ZAKARIA [チュニジア]
 ©Haythem Zakaria



第21回エンターテインメント部門大賞
 『人喰いの大鷲トリコ』ゲーム
 『人喰いの大鷲トリコ』開発チーム (代表: 上田 文人) [日本]
 © 2016 Sony Interactive Entertainment Inc.



第21回アニメーション部門大賞
 『この世界の片隅に』劇場アニメーション
 片渕 須直 [日本]
 © Fumiyo Kouno/Futabasha/Konosekai no katasumini Project



第21回マンガ部門大賞
 『ねえ、ママ』単行本
 池辺 葵 [日本]
 © Aoi Ikebe (AKITASHOTEN) 2017



第21回アニメーション部門大賞
 『夜明け告げるルーのうた』劇場アニメーション
 湯浅 政明 [日本]
 © 2017 Lu Film partners

2 日本映画の振興

映画は、演劇、音楽や美術などの諸芸術を含んだ総合芸術であり、国民の最も身近な娯楽の一つとして生活の中に定着しています。

また、ある時代の国や地域の文化的状況の表現であるとともに、その文化の特性を示すものです。さらに、映画は海外に向けて日本文化を発信する上でも極めて効果的な媒体であ

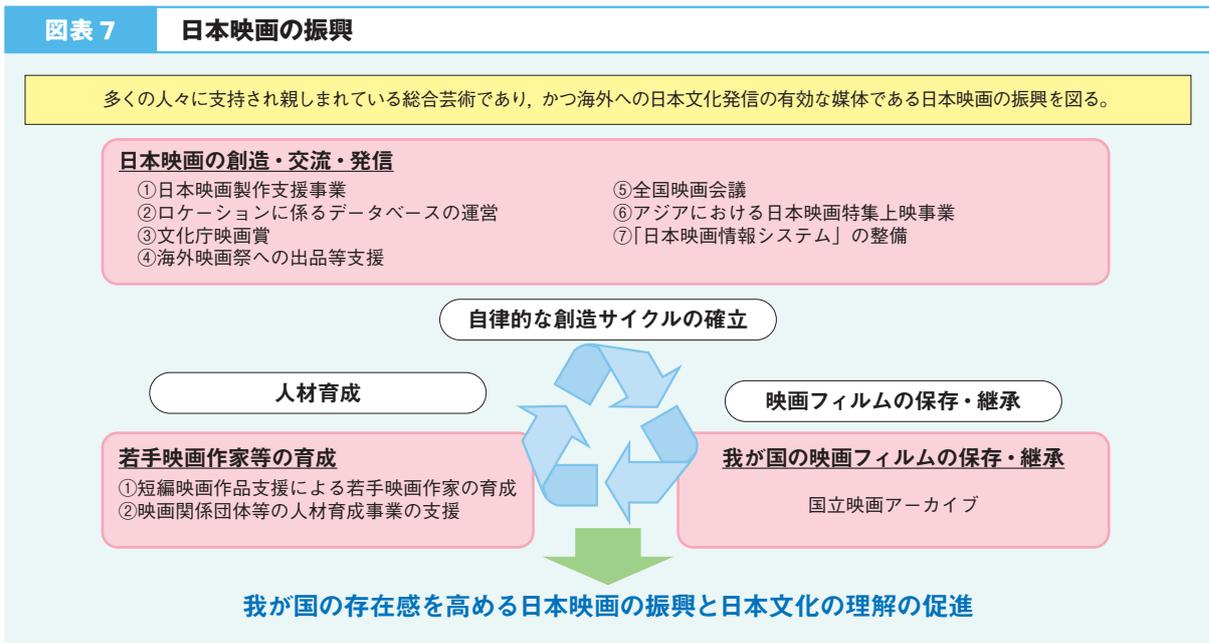
り、有力な知的財産として位置付けられています。

文化庁は、平成16年度から総合的な日本映画の振興施策を実施しており、①日本映画の創造・交流・発信、②若手映画作家等の育成、③日本映画フィルムの保存・継承を推進しています（図表7）。

具体的には、日本映画の製作支援、映画関係者によるシンポジウムなどの創作活動や交流の推進、日本映画の海外映画祭への出品支援やアジアにおける日本映画特集上映など海外への日本文化発信、短編映画作品製作による若手映画作家育成事業などの人材育成を通して、我が国の映画の一層の振興に取り組んでいます。特に日本映画の製作支援については、映画による国際文化交流を推進し、我が国の映画振興に資するため、平成23年度からは、国際共同製作による映画製作への支援も行っています。また、これらの活動を促進するため、データベースの整備による日本映画に関する情報提供も進めています。その他、映画及び映画関連資料の収集・保存・活用機能を一体的に強化し、より一層、我が国の映画文化振興を図るため、30年4月に「東京国立近代美術館フィルムセンター」を改組し、我が国唯一の国立映画専門機関「国立映画アーカイブ」が誕生しました。



若手映画作家等の育成撮影風景



第6節 子供たちの芸術教育の充実・文化芸術活動の推進

1 学校における芸術教育の充実

平成30年10月より小学校の「音楽」「図画工作」、中学校の「音楽」「美術」、高等学校の「芸術（音楽・美術・工芸・書道）」等の芸術に関する教育にかかる事務を文部科学省本省が